



新說明清合戰記
五

共五

A13
4433
5





新説明清合戦記卷之五

第九回 鄭天麟勇鎮江府と發事

宋の忠臣岳飛の言葉に文臣張を死せし武臣死を
 惜まば天下を平あすべしと有り。實に國家の治
 亂興亡は政事委實の大任が。賢臣有らざることも
 君賢けむばその臣の善惡邪正を見さうねばその罪
 君不わらむとせんや。清朝二百餘年の武徳ちうころ
 大いにおかしくつて殺くりの多うれども。まきく。苛政不
 民を虐げ。賞へおろく。野あり。さきく。南系ふと。まきり
 一。北京勢と。おほも。又ら。ちり。く。く。逆賊の。逮捕





嚴重あるをどに強盜賊中を孔妨一志なき城下の民も
こま不難りてぎらて極しもの多かり。追ごるるも
わづらきて皆てくぐり禁獄られし。賊をさしひ
しひ不官庫の賊をうらみし。こま逆賊不相
ふる。罪三族ふおよぶ。一として竟ふその妻もあ
とも殺十人。の罪人を獄の火殺りて。炮り殺し
あつりけり。あつる強盗の刑を見らるのみ。み多
冷たのこつて清の苛政をうらみて。いよく明の
仁政を徳を。殺幕渴作せし。あつる。明王をみやうふ
正軍とめて。江南に獲を征伐し。あひ。南系城ふ城入

ぬる。衆民も香と薫て。王の軍をむく。まろん。ひそ
う小思ひし。ひもあつ。耳照がたう。ひあ。明王諸
民を引つ。こあひ。福建より。西ふあり。福建。浙。江。ふ
かま。つ。寨。も。あ。つ。ら。ち。崩。し。て。地。を。持。て。見。る。
ら。是。ね。危。人。の。そ。み。と。う。ひ。り。こ。の。よ。う。南。系。不。臣
し。清。軍。を。め。く。固。あり。て。余。こ。そ。あ。は。逆。賊。の。荒
輩。より。猛。勢。の。鋒。きた。と。英。軍。か。ま。さ。海。寇。つ。よ。せ
ん。と。と。た。ひ。ふ。か。そ。ま。あ。あ。ん。く。ま。え。り。あ。ひ
折。け。る。逆。賊。の。滅。亡。と。な。う。と。と。と。北。系。逆。賊
せり。清の君臣昏愚をよば。耳照の深慮とあは。款。を

ぞ死しふよろこひて、南系不化しつる。漢吳唐尚
大臣と、をみりち應天府の守将とつゝ、直隸總督
大臣黃卓と、福建の軍門とつゝ、隊勢をおかきこ
到政事を執べきむ。宣下あり、大おあひふよろ
こひ。百かゝ、黃卓の十萬旅務の士卒ををさうく、控
威をふるつて、福建さうく、来ふらるるに、浙にあり
し、明の於つて、諸州の城郭とつゝ、焼崩し、百
姓離るんし、田圃荒らり、このわりさぬ、黃卓と、
士卒と、若ふひごと、呆まつ、やぐぐ、福建の地ふのまぶ
らも、おれど、城郭民家、焼毀つるの、人気があ

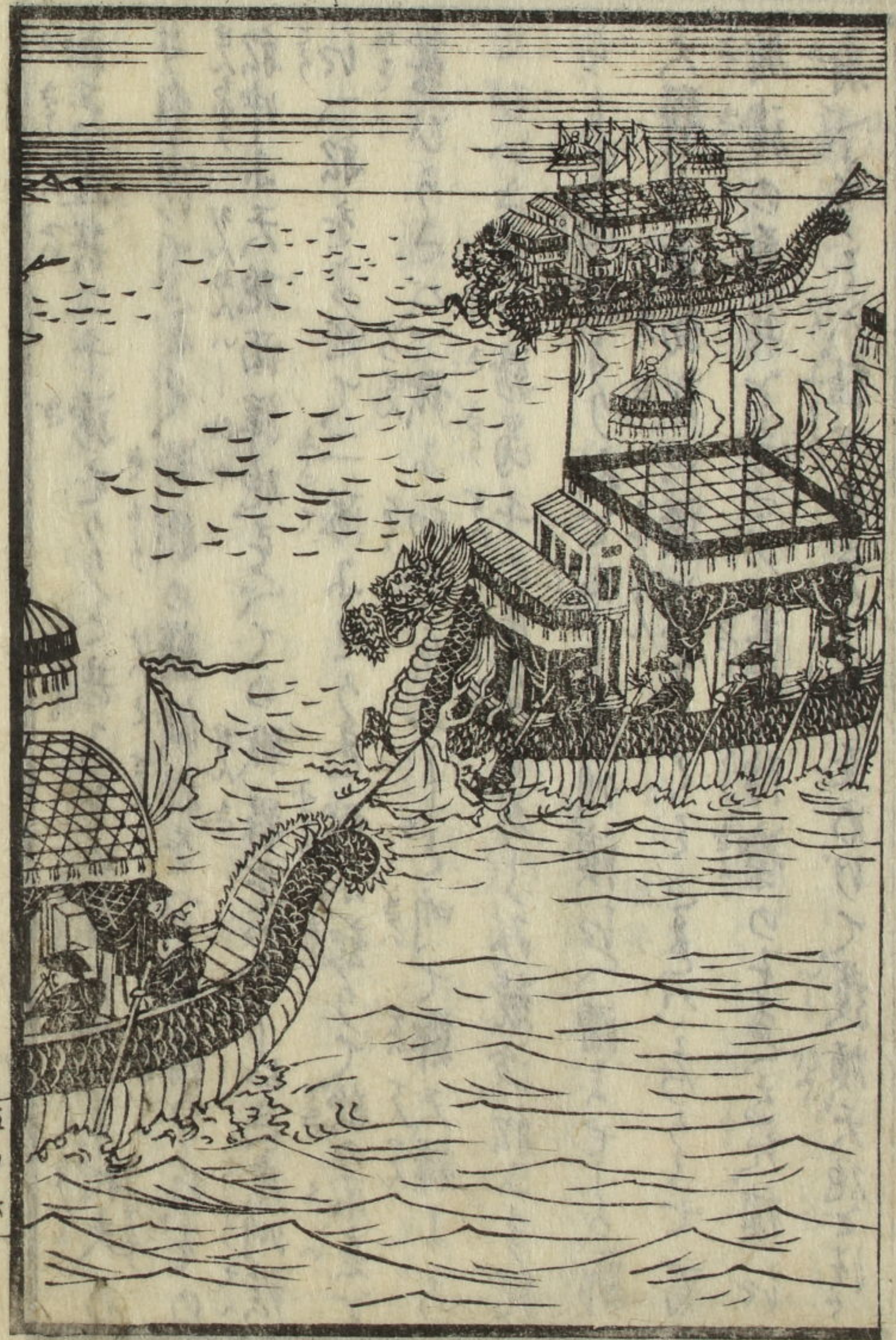
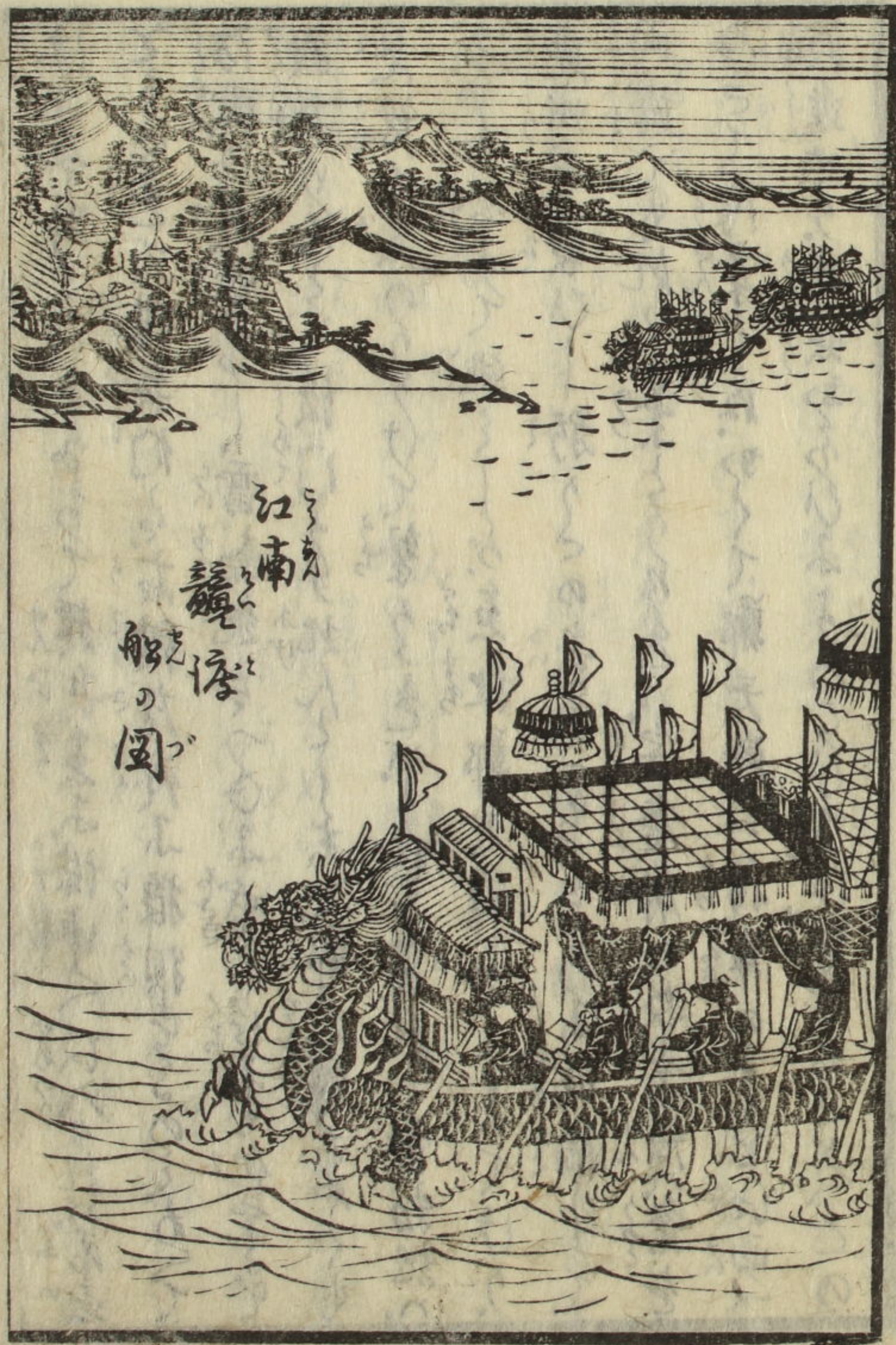
海寇不獲つる。殿臺もみ、崩しつゝ、黃卓の御あさ
ふ、と、北系へ、奏、彼あ、迫国の諸侯を、はのりて、
荒地を、さうび、開拓せん、と、大ひ、おちうとつ、こ、ま、ぞ、
復讐の雷、動、起、も、こ、が、叛、率、農民と、福建、つ、お、ら、り
遣て、黃卓、お、ち、う、と、つ、と、その、地、お、後、し、こ、ま、ぞ、
明軍の相、敵、お、つ、つ、つ、つ、枕、し、て、眠、ると、も、合、は、る、お、
と、ら、あ、し、つ、づ、き、今、茲、の、五、月、の、競、渡、船、の、祀、と、あ、し、
て、下、民、と、共、お、ち、平、と、つ、の、し、む、べ、と、て、市、中、お、よ、び、
村、う、こ、ま、ぞ、こ、の、よ、し、と、船、し、く、バ、鄂、俗、の、こ、ら、の、の、們、よ、
ろ、こ、び、て、その、准、備、お、ぞ、ら、り、け、る

周ちか不ふのし競けい渡と船せんハ危ふ車やまま水ま馬うともりりいいああ
 より居ち原げんをと吊りふふつつめめの遺俗ぞくああるるよよ清せい俗ぞく紀き関かん
 小こ五ご月げつ朔しやく日にちより六ろく日にちまで湖こああるるこころろハハ殺ころ艘そうのの
 龍りゆう船せんををううくく競けいひひ渡とをを船せんとと長ながささ五ご六ろく日にちをを二に日にちにに
 船せん小こ竜りゆう以い疆きやう小こ竜りゆう尾びををははららりり船せんととままままてて竜りゆうのの鱗りん
 ををええぐぐきき彩さい々ざしてして竜りゆうのの水すい上じやうふふららりりままるるりりきき
 ろろひひふふららりりままるる表ひょう小こ牌はい橋きやうありありここままとと竜りゆう門もんとといいふふ
 そのそのううらら小こ源げん舟しゆををううくくにに板いた小こ旗はたををううくくにに方かた小こ旗はた
 のの臺たいありあり臺たい上じやうのの中ちゆう英えい小こ源げん舟しゆををううくくにに方かた小こ旗はた
 殺ころ舟しゆをを立たつつねね次じ小こ亭ていととままううけけててままるるううららふふもも

得せうくく郷けい明めい鏡きやう娘にやう子こちちりりめめんん等とう小こ旗はた滴てつしてして兵へいととつつ
 一い源げん舟しゆありありびび小こ旗はた殺ころ舟しゆととううくくにに方かた小こ旗はたとといいふふ
 旗はた一い舟しゆありありめめ小こ旗はたいいららりりままるるああままららとといいふふとといいふふ一い艘そう
 小こ二に十じゆ人にん除よののりりららとといいふふ七しち人にんのの臺たい下かたありあり網あみ舟しゆをを殺ころ
 死しののとといいふふ二に三さん人にんのの亭ていののううちちありあり関かん刀とうとと
 名なづづけけららるる青せい旗はた刀とうのの形かたちありありつつららりり一い棺くわんををととりり船せんのの
 進しん退たいををははららりりままるる十じゆ人にん除よのの両りやう方かたののふふちちををここ小こ旗はた
 めめてて旗はたををりりててりりままるる船せんののちちををままるるとといいふふとといいふふとといいふふとといいふふとといいふふ
 見けん相さう群ぐん集しゆをを見けん上じやう荆けい楚そ歳さい時じ記き小こ日にち居ち原げんここのの日にちをを
 りりてて船せん小こ旗はた死しをを人にん船せんををりりててままるるとといいふふとといいふふとといいふふとといいふふとといいふふ

競渡にまゝありその遺俗あり土人よりぐく水舟のぞき
 てこそと見え蓋然人舟をりて車と一楫をりて
 了とせぬへ小舟車水馬の名あり畧文
 さても舟照と江南を獲ふ汁菓とめぐるまぢどふ
 競渡のまわりわりと関てこそ寔竟とよろこぶおし
 も鄭天麟の廣西湖水の氏和吹して流りまば今
 ん安しとて湖南へつり来つるあぞ舟照まましく
 よろこびつ鄭天麟小雷勃起が瀟慢のうと示し
 ちまび士率と損亡せば濡衣で泡を流るむこそ軍
 法の肝要ままこびの競渡船と新うこのさいりひ

和君遺兵二千誘むりりと共ふその姿をやつ村夫の
 さぬふいやくとて教渡の競渡船をつり漕つねその
 船中へ天砲西洋砲をての戦器をからしむき虎州鎮
 へ一船をよせて二隊ふりくは賊ふ起りて敵の不意と
 奪ひうへバ一戦ふ切をとぐべしと明て鄭天麟よろ
 こびいさそ一誘萬千の勇兵をえくみ競渡船ふま死
 らしと西湖より船と出し虎州鎮江漕よせしが鄭
 天麟と雷勃起の瀟慢をふくこそこびとらうろ七百
 舟の勇兵とまごぐ毫も防禦のそまふた鎮江
 府へまごぐ入猛可ふらつと周をわけて獲煩天砲を流



けざぬふつるべをもちて獲兵多し。城守の攻入れば、
とうとうして城兵もたおされ、城守も獲取するの事ありて
防戦の激勢あり。雷動絶つて、城守も皆くはなれり。見
新兵ありとも、城門より北へと、志と鄭天驊をやくも
見惚て、名のりうけて、撃つるまじやうんごころれ、雷動絶つ
く、一合して、逃ぐ、一が、急地、鄭天驊、ふう、まて、けり。
虎州を襲ひ、一躬、この兵も、まらど、ころ、不攻陥して、
兩城てもれ、一素、うり、は、安慶府の牧、李俊、の、
ぬぎて、隊、素、一、ぬ、かくて、鄭天驊、の、
派進せり。其、照、ある、ひ、ふ、よろ、こ、び、つ、隊、勢、と、志、こ、ご、この

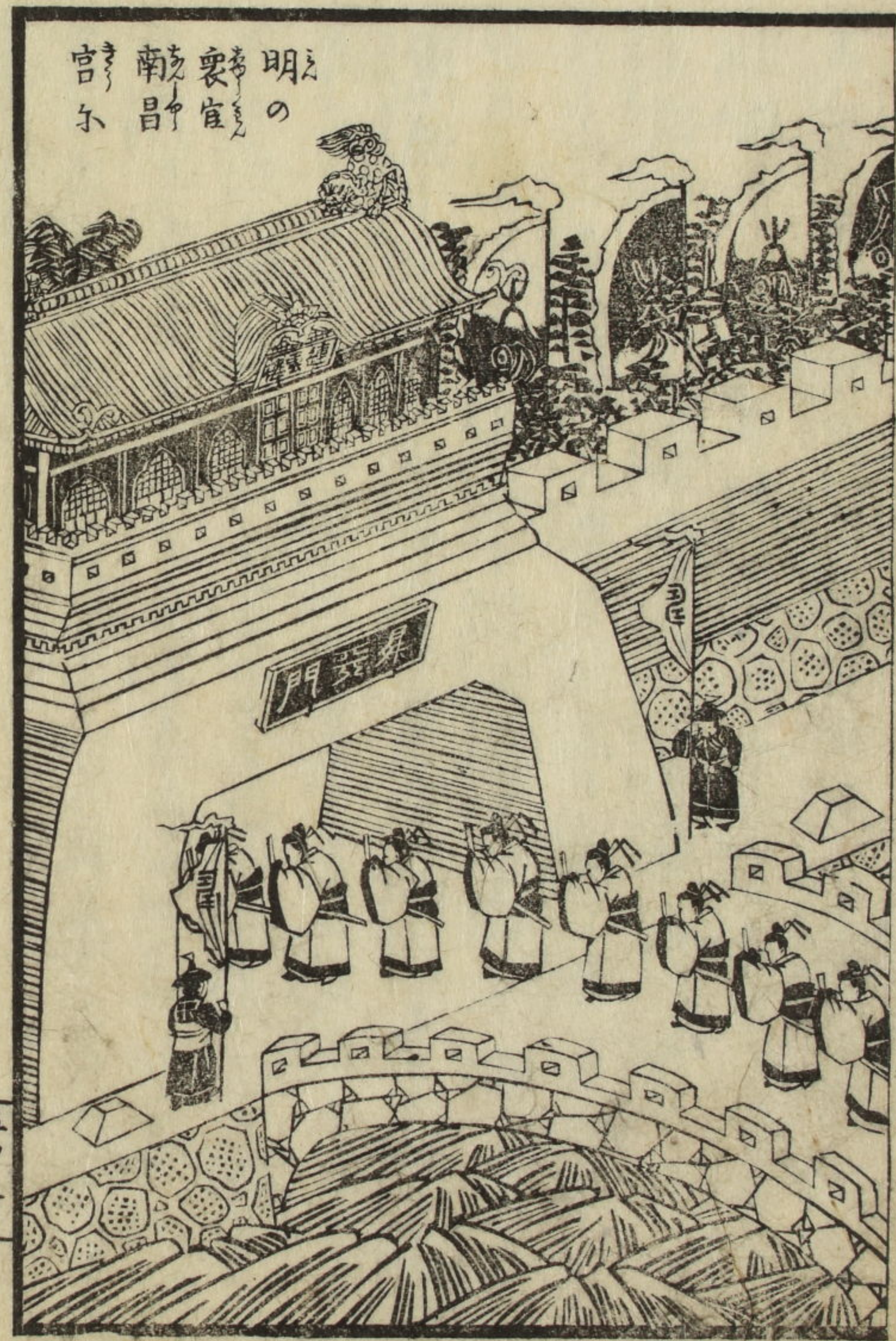
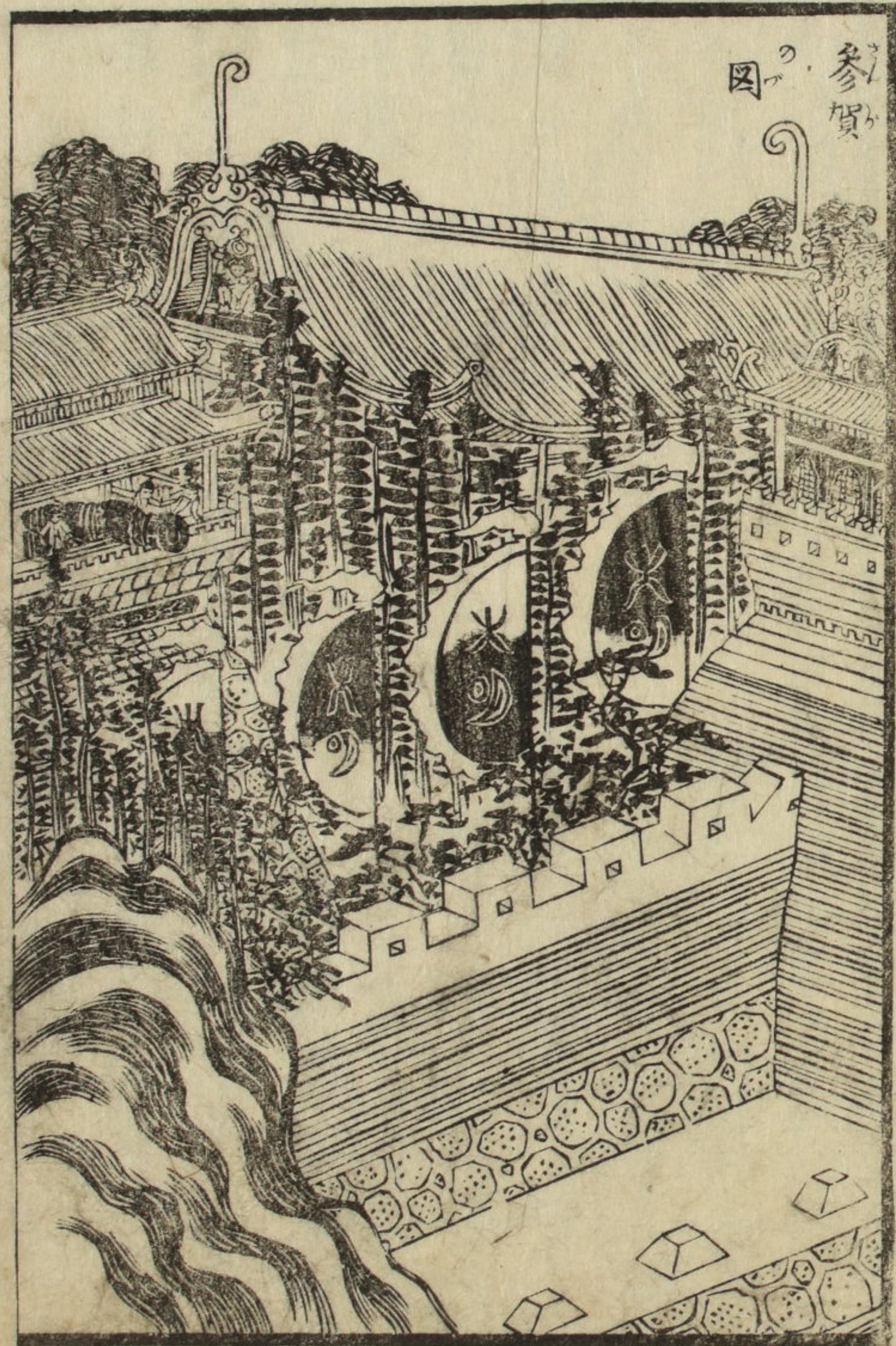
地不慮、虎州、鎮、に、安慶を、巡、歴、して、地方を、え、う、り、
隊、お、李、俊、を、の、この、ま、安慶の、牧、と、志、虎州、の、
の、勇、お、魯、風、進、ふ、こ、を、ま、り、せ、鎮、に、天、勇、お、ま、も、
ら、せて、要、害、を、か、く、固、め、王、城、の、杆、城、と、して、清、軍、と、
防、が、せ、し、む、
第十回 南昌、小、明、の、王、城、を、築、く、事、
紀、龍、先、生、其、照、と、ふ、り、死、慮、を、め、ぐ、う、り、躬、この、士、率、
が、軍、勇、若、華、不、思、一、志、湘、に、福、建、ある、院、法、の、地、を、
備、げ、も、あ、く、こ、を、持、て、清、小、あ、く、王、城、を、西、ある、
南、昌、小、築、く、ふ、お、よ、び、て、尚、府、の、身、劉、章、の、將、小、陳、也、

公孫榮が南江府の守とありて、瑞州の刺史宋思
 山と共小舟一舟人不明へ属し。廣西湖北征伐ふ、其の
 軍切ありて、廣東德慶府の牧として、海防使都督
 少卿小相本の任む。劉章一家おるひよるて、比君恩と謝
 し、まがりて、德慶府へ入りたり。瑞州の刺史宋思山も、
 先朝よりの舊家とまは、是もまゝ軍切の賞として、施
 南の地を瑞州小、降せありて、是後軍日本の拾遺補闕
侍從小補任せしむ。其宅瑞隆の諸君知縣、張秀とて、
 めとして、切賞員別ありども、めりてこれく、賞ありて
 爵ありは、人民おるひよ懐きたり、かくて南昌の地方

を廣く、王城を築くも、むらめぎをも、固くあり、
 諸侯おのくおとすと、大本大石銅鉄のこがひを、船車
 小運送して、鉄進をまは、土木の工、通們ちうとつて、
 爲て江鐵を食く、徳をまはひ恩と作らて、大城、石日
 小、廣く、ぬぞもく、江、南の地、山川多く、中国、小あり、ひ
 あり、廣大、饒沃の上、國あり、統中、南昌府、西、小、魏、々々
 盧山、聳へ、東、ハ、嶺、く、々々、麻、姑、の、險、山、南、々々、廣、東、々々、
 汀、源、の、大、嶽、を、境、と、せり、北、々々、々々、余、の、み、の、々々、峯、々々、け、是、と、
 嶮、岩、々々、々々、重、山、嶺、浪、々々、々々、汀、有、蓋、南、昌、より、教、州、と、隔、
 ちて、江、西、東、水、の、さ、く、ひ、み、々々、鄱、陽、西、湖、の、渺、々々、大、湖、

の聲を揚岸を拍り、毫不要害を双の地ある。その
色山仲小寨をうまへ、間道を穿ちて、石郭を築き、
千と竈おき、却常の防ぎ、小備、つり、そが、仲、央、小、築
くところの、鐵、城、石、門、を、堅、固、を、旨、と、し、さ、う、し、小、築
し、兒、花、孌、を、う、ご、う、に、兵、糧、衣、器、充、溢、せ、り、さ、も
ども、馬、公、ら、帝、位、不、昇、り、と、危、人、お、し、て、孝、德、王、と
崇、号、し、ま、ん、つ、の、こ、か、く、て、東、花、孌、が、を、う、ご、う、ひ、ま、ら
し、て、鄭、天、籙、の、妹、翠、珠、女、の、質、人、あ、る、よ、う、一、國、を
さ、ま、ば、ら、ま、と、孝、德、王、の、后、と、し、今、茲、奉、貢、の、春、より、
と、ド、め、て、明、の、年、号、と、建、て、天、德、元、年、と、ま、す、去、の、と、し、

清の道光二十年、不、改、元、し、て、咸、豊、と、し、つ、り、明、於、是、を
不、定、り、て、い、よ、く、仁、政、を、布、め、り、あ、る、を、さ、う、で、も、西
八、ヶ、国、の、富、饒、肥、民、の、地、あ、る、よ、福建、浙、江、の、民、明、を
あ、ご、め、て、み、ま、こ、の、國、へ、あ、つ、ま、り、し、ま、ば、人、民、ま、ま、し、
繁、殖、し、て、今、々、北、京、の、帝、都、あ、る、也、都、を、う、ご、う、ぬ、於、こ、あ、り
け、り、是、を、さ、ら、東、花、孌、が、勤、王、の、軍、を、興、せ、し、切、あ、る、と、も、
ひ、と、つ、り、其、照、鄭、天、籙、が、羽、翼、と、成、て、命、を、お、し、ま、し、
忠、戦、軍、勞、の、勲、切、あ、る、を、明、の、帝、位、不、昇、ぬ、を、お、の、く
王、位、と、す、べ、た、れ、ど、も、その、君、い、ま、ご、南、國、不、を、ら、四、省、の
王、と、す、る、也、不、其、照、へ、中、真、の、祖、切、長、其、暉、の、例、不、ま、ら、



軍兵を徴わらめ、遂に遼遼治わらへしとて、北を盛京、
 直隸、山西、河南の軍勢五十餘萬、遼東、山東、江蘇、
 河南、浙江、福建の勢二十八萬、西を陝西、甘肅、
 雲南、貴州の勢に十餘萬、遼を合して、大略二百
 五十餘萬、其の勢わらうも、雲南のてく、明の北省の
 境不攻よせ、海老湖、岷山、岳不、清の大軍充満して、穀
 氣天不界を、劍戟地不見き、砲を响りて、鼓を
 かざり、旌旗を翻して、威を示せり。さきとも、明の勇
 士猛卒、ちんとも懼らう面えれく、其照防、威の配隊

あり、都畿を令スの切たふ比し、忠勇を有まぬ、明
 軍、つりとも、寡を衆不敵し、つりとも、明の興亡このとたえ、
 兩國の時運甚麼あらん、たふも、右ふも、窮まて、不
 湖上、大く、擾亂して、脩羅、戰卒の、衝不遂、ふ、万民塗
 炭の、苦を、想像、ふ、最、惶、き、
 皇國、萬々、歳の、恭平、徳化の、恩澤、廣く、深、厚、あり、
 相互、不、敵、後、つり、つり、つり、つり、つり、つり、つり、つり、
 汚世を、有、つり、つり、つり、つり、つり、つり、つり、つり、
 作者曰、右、つり、つり、つり、つり、つり、つり、つり、つり、
 錯簡、遺漏、鈔、つり、つり、つり、つり、つり、つり、つり、つり、

校訂を經ざる故に筆耕杜撰ありて用字法格を
 得り割割氏も亦刀と鹿子にて落鉄の多記あり
 故に不遑ありゆゑん是威時を失ふとと急が故に
 此のさう〜嗚呼活業の最終あり世利不奔りと
 既くのみ

新説明清合戦記卷之五

